

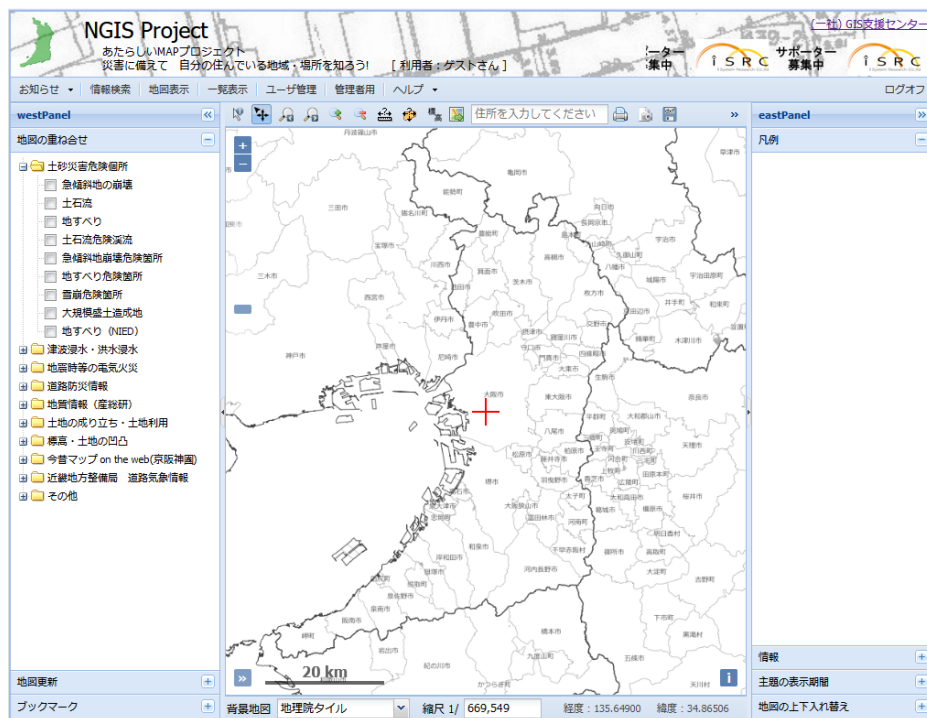
地理院ベクトル地図を利用した DXF 出力の利用方法(暫定運用)

2020年3月に、国土地理院から全国の地理院地図 Vector が公開されました。支援グループメンバーにより、地理院地図 Vector を活用した DXF 出力ツールを開発しました。

利用手順

1) システムを起動させる

暫定運用のため、URL は、変更される可能性があります。ホームページ内のリンクからシステムを起動させてください。



2) 背景地図、縮尺の設定

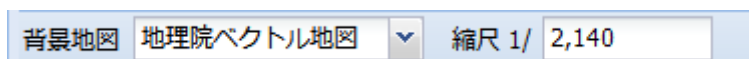


および

住所を入力してください

を利用して、出力した場所に

移動してから、



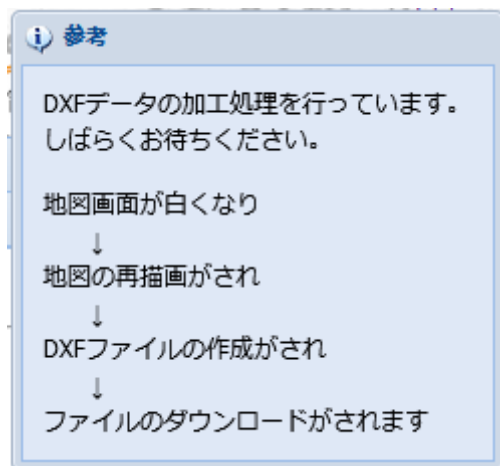
背景地図を地理院ベクトル地図に変更してください。

縮尺を 1/4,200 ~ 1/2,140 に設定してください。

3) DXF のアイコンをクリックしてください。



下記の画面が表示されます。しばらくお待ちください。



利用上の注意

- ・利用に際しては、国土地理院の地図の利用手続きに関するホームページを参照し、ご利用ください。

現行ツールに比べて機能低下している点

- ・地理院地図 Vector に含まれないため、側溝、歩道、雨水枡のデータが出力できません。
- ・表示画面より大きな範囲の DXF データが出力されます。

その他・問合せ

2013年11月から、基盤地図情報から DXF 出力する機能を提供してきましたが、出力できる領域が大阪府周辺地域と狭く、また、基盤地図情報の更新に追随していませんでした。しかし、今回、地理院地図 Vector を利用することによって、地理院の地図の更新に追随し、全国の地図より、DXF 形式の CAD データを利用することが可能となります。

年末に予定していた基盤地図情報の差し替えは中止します。また、今回提供する地理院ベクトル地図を利用した DXF 出力ツールの利用状況をみて、現行サービスの停止を行う予定です。

不明点、改善点などの問い合わせを歓迎します。